

拠点病院連携会議での主な意見等【愛知県アレルギー疾患医療拠点病院連携会議（第1回平成30年12月10日・第2回平成31年2月13日）】

協議事項（設置要綱）	主な意見等
1 拠点病院で実施する調査、分析を参考に、地域におけるアレルギー疾患の実情を把握すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査については、個人病院やクリニックの状況を把握するために有用である。</li> <li>・全体的な傾向は掴むことが出来ている。西三河地区での底上げが必要である。</li> <li>・拠点病院は名古屋、尾張、知多地域にあることも考えると、三河地域が課題である。</li> </ul>
2 拠点病院を中心とした診療連携体制の在り方を検討すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人でアナフィラキシーを起こすと救命センターへ搬送され、救命センターでは原因が分からないが回復するというケースが多い。救命の医師との連携体制が重要である。</li> </ul>
3 情報提供（患者やその家族に対する定期的な講習会、地域住民に対する啓発活動等）に係る施策を企画、立案すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民向け講演会（日本特殊陶業市民会館）では、名古屋・尾張中部医療圏の参加が多く、東三河地域の参加はほとんどなかった。</li> <li>・1000人規模のホールだったため、対応に人員を割く必要があった。</li> <li>・ディスカッションの時間をとるなど、積極的に参加できる会にしていきたい。</li> </ul>
4 医療人材の育成（アレルギー疾患に携わる医療従事者の知識や技能の向上に資する研修等）に対する拠点病院の関わり方を検討すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西三河はアレルギー学会専門医も少なく、また研修会の参加も少ない傾向にある。そのため、西三河地域で研修会を開催する必要があるのではないか。</li> <li>・ハンドアウトを配布するなど、参加者が参加後も理解を深められる会にしていきたい。</li> </ul>
5 福祉人材等の育成（保健師、栄養士や学校、児童福祉施設等の教職員等への講習会等）に対する拠点病院の関わり方を検討すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育関係者向け研修（名古屋ルーセントタワー）では、名古屋・尾張中部医療圏からの参加申込者が多いが、西三河はアレルギー学会専門医も少なく、また研修会の参加も少ない傾向にある。そのため、西三河地域で研修会を開催する必要があるのではないか。</li> <li>・需要に見合った適切な会場を用意していくことが大切である。</li> </ul>
6 拠点病院の活動実績等を定期的に評価すること並びに拠点病院の選定及び見直しに関する事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の拠点病院でアレルギー疾患に関する合同カンファレンスを行っていることを知ったので、参考にし取組等を検討したい。</li> </ul>
7 その他アレルギー疾患対策全般の施策に関する事	

※拠点病院連携会議…拠点病院である6病院の実務担当者及び県の担当者により、連絡協議会協議事項に係る実務的な検討を行う会議